

# 社会保障委員会 NEWS

発行：社保委員会事務局

## ■仮設入居者対象の「健康づくり教室」（運動療法士の集団指導）

スタート！第1回目は、七ヶ浜町・老人センターで開催。

10月27日午後、七ヶ浜町・老人センターで「のびのび」の運動療法士による「健康づくり教室」が開催されました。この「健康づくり教室」は、県の仮設入居者への健康支援事業として認定されたもので、第1回目となる今回は5名の入居者が参加されました。参加者は、血圧測定の後、軽いストレッチから始めてたっぷり1時間以上のプログラムにとりくみました。



「健康づくり教室」は、11月以降以下の日程で行われます。

<七ヶ浜町>

11/10（木）14時～謡地区集会所（12月以降は毎月第1木）

11/17（木）14時～老人センター（毎月第3木曜日14時）

<塩竈市>

11/14（月）14時～伊保石仮設集会所（毎月第2月曜日14時）

## ■仮設健康相談会、20日山王仮設・27日高橋仮設で開催。



健康相談会は、10月20日に多賀城・山王で藤原医師、6階看護師2名、放射線、友の会の参加で開催しました。3回目の相談会でしたが、12名の入居者が来場。4名の方は、初めての相談でした。12名のうち、血圧150以上の方が6名、眠剤服用中の方が6名で、健康面での不安、相談が寄せられました。

10月27日は、多賀城・高橋で開催。佐々木隆医師、4階・5階看護師が参加。こちらも3回目の開催で8名の入居者が来場され、うち2名は初参加でした。血圧150以上の方は2名、眠剤服用中の方は3名でした。

多くの方が、「お風呂が寒い」と話されており、心疾患を持っている方もいて、冬に向けて防寒対策を行政に求めています。

<参加者の感想>

- ・被災者の現実を感じた。何に困っているか、わかることができた。気持ちの一端を話していただけた。
- ・半年以上経過しても生活の変化に伴う健康不安など多くの相談があり、訪問の役割の大切さを知った。
- ・独居の方が多く、話し相手がいなくて、さびしい思いをしている方が多いと感じた。震災での心理的ダメージも多く、イライラしたり不眠の訴えが多かった。
- ・仮設の方にとって、この健康相談会が重要なコミュニケーションの場になっていることが分かった。

## ■フードバンクと路上生活者支援物資提供で協定を締結！

みやぎ生協生活文化部さんから紹介をいただき、NPOふうどばんく東北AGA IN（あがいん）と協定を締結し、路上生活者支援物資を提供いただくこととなりました。

NPOふうどばんく東北AGA IN（あがいん）は、路上生活者支援を行っているNPOワンファミリーやみやぎ生協さんが設立した団体で、農業生産者や食品会社などから物資提供をいただき、路上生活者支援団体に提供する「仲介役」となっています。この間、健康相談会にみやぎ生協ボランティアセンターの皆さんに参加いただいた縁で、ご紹介いただきました。

<仮設健康相談会日程> 11/10 塩釜体育館、17多賀城公園、12/1伊保石、

12/8城南、15山王、22高橋